

令和元年度鳥取県原子力 防災訓練実施計画(案)

令和元年10月4日

鳥取県危機管理局原子力安全対策課

目次

全般

- ①災害本部等運営訓練
- ②OFC訓練
- ③情報収集訓練
- ④緊急時モニタリング訓練
- ⑤BCP訓練
- ⑥PAZ支援訓練
- ⑦広報・情報伝達訓練
- ⑧屋内退避訓練
- ⑨住民避難訓練
- ⑩避難行動要支援者訓練
- ⑪避難行動要支援者(聴覚障がい者、外国人等)避難訓練
- ⑫学校等の避難訓練
- ⑬避難退域時検査会場設置訓練
- ⑭車両確認検査等訓練
- ⑮避難支援ポイント設置・運営訓練
- ⑯原子力災害医療活動訓練(避難退域時検査)
- ⑰原子力災害医療活動訓練(安定ヨウ素剤)
- ⑱-1原子力災害医療訓練(広域医療搬送(鳥取県消防学校))
- ⑱-2原子力災害医療訓練(広域医療搬送(美保基地))
- ⑱-3原子力災害医療訓練(鳥取県済生会境港総合病院)
- ⑱-4原子力災害医療訓練(鳥取県中央病院)
- ⑱-5原子力災害医療訓練(鳥取大学医学部附属病院)
- ⑲避難経路確保訓練
- ⑳県営広域避難所開設訓練
- ㉑避難誘導・交通規制等措置訓練
- ㉒物資補給訓練
- ㉓原子力防災講座

【全般】訓練実施計画

目 的	原子力防災対策について、住民避難に関する事項等の実効性確認と対応能力・職員能力の練度の維持向上を図る。		
時 期	11月上旬	場 所	鳥取県庁、西部総合事務所、島根原子力防災センター（OFC）、米子市役所、境港市役所 他
主要 訓練項目	1 迅速な初動体制の確立 2 複合災害対応 (地震災害と原子力災害) 3 円滑な住民避難及び屋内退避	編 成	鳥取県、米子市、境港市、実動組織、原子力防災関係機関、住民 等
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練結果を踏まえた教訓事項の抽出 ・地域防災計画及び広域住民避難計画の改善 ・原子力災害対策に関する住民理解の促進 		
実 施 の概要	<p>※ 国の総合防災訓練との共同訓練とする。 (訓練概要)(詳細な訓練項目は別紙参照)</p> <p>○初動体制の確立 県災害対策本部・現地災害対策本部、米子市、境港市及び国(官邸、OFC)、島根県、関係機関等との原子力防災対応にかかる連携要領の確認</p> <p>○複合災害対応(地震) 自然災害(地震)と原子力災害が同時に起こる複合災害を想定(国と共同シナリオ) 複合災害(地震災害と原子力災害)時における迅速かつ的確な初動対応の実施</p> <p>○住民避難 屋内退避、要支援者対応、住民への情報伝達、避難経路の確保と誘導等多様な手段による円滑な住民避難の実施</p>		

①【災害本部等運営訓練】 訓練実施計画

目的	複合災害時(地震災害)において、島根原子力発電所におけるEAL(放射性物質放出前)及びOIL(放射性物質放出後)時の事態の進展に応じた国・島根県・米子市・境港市及び各関係機関等との連携及び初動対応要領を確認する。		
時期	11月上旬	場所	県庁[災害対策室、緊急事態対処センター(TERC)、第22・33・34会議室]、西部総合事務所、原子力環境センター、琴浦大山警察署、米子市、境港市、島根県原子力防災センター(OFC)
主要訓練項目	1 複合災害時の本部設置・運営 2 情報共有等関係機関との連携 3 住民への情報伝達手段の確認	編成	県災害対策本部、県医療救護対策本部、県現地対策本部、県モニタリング本部、実動機関現地合同調整所、米子市・境港市対策本部、OFC各県市ブース
目標	事態に応じた各機関との連携及び対応の確認		
実施の概要	日時	状況	訓練内容
	11月上旬	地震発生、AL～SE初期	①災害対策本部事務局設置運営訓練【事務局(※地震・原子力対応)】 ②〃 初動対応訓練【事務局(※地震・原子力対応)】 ③〃 本部会議等運営訓練【本部員及び事務局】
		SE中期～GE初期	③〃 本部会議等運営訓練【体制1(※原子力対応を中心)】
		GE初期～後期	③〃 本部会議等運営訓練【体制2(※原子力対応)】
		OIL 放射性物質放出後	③〃 本部会議等運営訓練【体制3(※情報伝達対応)】

②【OFC訓練】訓練実施計画

目的	島根原子力防災センター(OFC)に鳥取県ブース要員及びOFC要員を派遣し、関係機関と連携を図るとともに、県災対本部との連携要領、機能班活動や原子力災害合同対策協議会等を通じた現地対応能力の強化を図る。		
時期	11月上旬	場所	島根県原子力防災センター(OFC) 県庁、西部総合事務所
主要訓練項目	1 県災害対策本部・現地災害対策本部とOFC間の連携・調整確認 2 機能班活動やそれに伴う多様な機器操作の習熟	編成	鳥取県、米子市、境港市等
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・原子力災害時における現地対応能力の強化 ・抽出した教訓について地域防災計画へ反映 		
実施の概要	日時	主要会議等	訓練内容
	11月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回現地事故対策連絡会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県ブースでの関係機関との具体的対策の検討、調整 結果の報告等 ・OFC要員の緊急参集(派遣)及び各機能班での活動を実施 ・防護措置の実施方針作成にかかる検討・調整 ・現地事故対策連絡会議、合同対策協議会等の会議運営、会議結果の関係機関との共有
		<ul style="list-style-type: none"> ・第3回現地事故対策連絡会議 ・第1回原子力災害合同対策協議会 ・第2回原子力災害合同対策協議会 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・第3回原子力災害合同対策協議会 	

③【情報収集訓練】 訓練実施計画

目 的	原子力災害時に現地被害状況、道路状況等について、鳥取県災害対策本部等で状況把握・分析を行い、その後の速やかな対応につなげるため、さまざまな手段を用いた情報収集を図る。								
時 期	11月上旬	場 所	境港市及び米子市上空、県災害対策本部						
主要 訓練項目	1 ドローンによる情報収集 2 自衛隊ヘリ(UH-1)による情報収集 3 巡視船による情報収集	編 成	鳥取県、陸上自衛隊中部方面隊、境海上保安部						
目 標	県災対本部にて現地映像情報の確認及び共有を行う								
実 施 の概要	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">日時</th> <th style="width: 50%;">主要行事</th> <th style="width: 35%;">訓練内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">11月上旬</td> <td> 【ドローン】 避難経路(国道431号線)の状況等について情報収集を実施 【ヘリ】 道路等被災状況等について情報収集を実施 【巡視船】 周辺海域の状況等について情報収集を実施 </td> <td> 各機体によって撮影した映像を県災対本部へ伝送⇒県災対本部にて受信及び状況把握・分析 ※訓練の進行状況、天候等により予告なく変更する場合あり </td> </tr> </tbody> </table>			日時	主要行事	訓練内容	11月上旬	【ドローン】 避難経路(国道431号線)の状況等について情報収集を実施 【ヘリ】 道路等被災状況等について情報収集を実施 【巡視船】 周辺海域の状況等について情報収集を実施	各機体によって撮影した映像を県災対本部へ伝送⇒県災対本部にて受信及び状況把握・分析 ※訓練の進行状況、天候等により予告なく変更する場合あり
日時	主要行事	訓練内容							
11月上旬	【ドローン】 避難経路(国道431号線)の状況等について情報収集を実施 【ヘリ】 道路等被災状況等について情報収集を実施 【巡視船】 周辺海域の状況等について情報収集を実施	各機体によって撮影した映像を県災対本部へ伝送⇒県災対本部にて受信及び状況把握・分析 ※訓練の進行状況、天候等により予告なく変更する場合あり							

④【緊急時モニタリング訓練】実施計画

目 的	緊急時モニタリング計画及び実施要領に基づき手順の確認を行い、計画及び実施要領の検証を行う。また、新たに整備したサーベイ車による走行サーベイやTV会議システムを用いたTV会議、現場での試料採取、原子力環境センターでの放射能測定等のモニタリング活動を行い、機器取扱いの習熟度の維持・向上を図る。		
時 期	11月上旬	場 所	原子力環境センター、西部総合事務所、県災害対策本部 他
主 要 訓練項目	1 情報伝達訓練 2 実動訓練(試料採取、現地測定、放射能分析)	編 成	鳥取県、中国電力株式会社
目 標	緊急時モニタリング計画及び実施要領に基づき初動等の対応を行うとともに、指示書に基づく緊急時モニタリングを円滑に実施する。		

	日時	主要行事	訓練内容
実 施 の概要	11月上旬		<p>①EMC、県災害対策本部と情報伝達</p> <p>②可搬MP設置、試料採取、モニ車測定、走行サーベイ、MP燃料補給、放射能分析(県独自訓練)</p>

⑤【BCP訓練】訓練実施計画

目 的	原子力災害時において境港市の全域避難が必要になった場合における、境港市役所の行政機能の中断を避けるための行政機能の移転に必要な先行的準備及び避難先地域での避難者の円滑な受入任務を有する市役所先行班の行動とそれについて支援等を行う県の行動について検証する。		
時 期	11月上旬	場 所	鳥取県庁講堂、境港市役所
主要 訓練項目	<ol style="list-style-type: none"> 1 先行班による市役所主力の受入準備 2 県による当初段階における環境整備 3 県と境港市の調整 	編 成	鳥取県(総務部、地域づくり推進部、危機管理局)、境港市、想定(運送事業者、イベント業者、NTT)
目 標	境港市の行政機能の移転に伴う準備及び支援体制の確立		
実 施 の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 先行班の派遣等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 先行班の編制(責任者、行政機能受入準備要員×2、避難者受入準備要員×2) ・ 任務達成に必要なものの輸送及び人員輸送(トラック×1、マイクロバス×1) 2 先行班の活動1(行政機能の移転) <ul style="list-style-type: none"> ○行政機能を中断させず、状況の進展に伴う本隊の受入を持って行政機能の完全移転 ・ 当初段階における行政窓口の開設(市役所との確認調整、県との確認) ・ 通信施設等の確認(市役所との調整) 3 受入等の支援 <ul style="list-style-type: none"> ○県において業務環境を構築する。この際、当面の活動に支障がない段階的整備と民間能力の活用を図る。 ・ 移転計画に基づく内部配置と環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 机、椅子、ホワイトボード、FAX、電源 ✓ PC環境(LANとWi-Fi)、TV会議(市役所との24時間通信の確保、Web会議のレンタルを想定)、臨時電話 4 TV会議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 首長(知事⇄境港市長)による市役所移転と住民の避難実施に関する調整会議 		

⑥【PAZ避難支援訓練】訓練実施計画

目的	原子力災害時において事態が進展し全面緊急事態になった場合、国から島根原子力発電所の約5km圏内(PAZ)住民(要支援者等を除く)に対して避難指示が発出され、PAZ住民は避難を行う。避難時に本県を通るPAZ住民に対しての支援を行う。また鳥取県広域住民避難計画において、西部町村が予備的避難地域に指定されていることも踏まえ、本県西部町村に避難する場合の避難所の開設等を行う。											
時期	11月上旬	場所	鳥取県庁災害対策本部 大山町保健福祉センターなわ									
主要 訓練項目	1 PAZ住民避難時の支援体制の確立 2 避難所の開設・運営	編成	原子力安全対策課、鳥取県警、境港市、米子市、大山町役場、西部町村職員(調整中)									
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・PAZ住民避難時の円滑な支援体制の確立 ・西部町村避難所の開設・運営等の実効性向上 											
実施 の概要	<p style="color: blue;">図上(災対本部等運営訓練及びOFC訓練と連携)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">時間</th> <th style="width: 30%;">主要行事</th> <th style="width: 50%;">訓練内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">全面緊急事態時</td> <td style="text-align: center;">PAZ住民避難時の支援体制の確立</td> <td>県災対本部より警察及び市町村に対しPAZ内住民の避難について支援体制の確立を要請⇒各機関からの回答</td> </tr> </tbody> </table> <p style="color: blue; margin-top: 10px;">実動(県広域住民避難計画において予備的避難地域に指定されている西部で行う。)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tbody> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">11月上旬</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">避難所開設・運営</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">避難所開設・設営の手順確認</td> </tr> </tbody> </table>			時間	主要行事	訓練内容	全面緊急事態時	PAZ住民避難時の支援体制の確立	県災対本部より警察及び市町村に対しPAZ内住民の避難について支援体制の確立を要請⇒各機関からの回答	11月上旬	避難所開設・運営	避難所開設・設営の手順確認
時間	主要行事	訓練内容										
全面緊急事態時	PAZ住民避難時の支援体制の確立	県災対本部より警察及び市町村に対しPAZ内住民の避難について支援体制の確立を要請⇒各機関からの回答										
11月上旬	避難所開設・運営	避難所開設・設営の手順確認										

⑦【広報・情報伝達訓練】訓練実施計画

目 的	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関等への円滑な情報伝達と的確な報道対応を検証 ・鳥取県原子力防災アプリ、ホームページ、あんしんトリピーメール、SNS等を活用した独自広報の検証 		
時 期	11月上旬	場 所	鳥取県災害対策本部 他
主要 訓練項目	<ol style="list-style-type: none"> 1 関係機関への情報伝達 2 報道機関との連絡調整 3 独自広報の検証、一時滞在者への広報、情報伝達 	編 成	広報課 他
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携及び広報・情報伝達の実効性向上 ・県民や外国人等へのわかりやすい広報の検証 		
実 施 の概要	日時	主要行事	訓練内容
	11月 上旬	県民等への広報	災害の概要、被害状況等について、県原子力防災アプリ、ホームページ、あんしんトリピーメール、SNS等を活用した独自広報の検証(訓練表示、訓練メール等)
		一時滞在者(外国人、観光客等)への広報	<ul style="list-style-type: none"> ・同上(分かりやすい表現・説明による広報) ・外国人観光客への広報：県立観光施設での外国語による広報案内訓練
		報道機関との連絡調整	<ul style="list-style-type: none"> ・報道提供等：提供資料を報道機関にファックス送信 ・事態進展速度等に応じた多様なメディアの活用：発信内容の検討・発信
		UPZ内住民の屋内退避指示広報	対処方針(屋内退避、避難指示等)について、県原子力防災アプリ、ホームページ、あんしんトリピーメール、SNS等を活用した独自広報(訓練表示)の検証
		UPZ内住民の避難指示広報	同上
道路情報表示		道路管理者への各段階での情報伝達訓練(道路情報表示板(訓練表示))	

⑧【屋内退避訓練】訓練実施計画

目的	全面緊急事態におけるUPZ内住民の防護措置である屋内退避について発災時における周知活動の習熟と住民の屋内退避に対する理解促進を図る。		
時期	11月上旬	場所	米子市、境港市、介護老人保健施設ゆうとぴあ 等
主要訓練項目	1 屋内退避指示情報伝達訓練 2 放射線防護対策施設等での屋内退避訓練	編成	鳥取県、米子市、境港市、住民 等
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・周知活動の手順の習熟 ・屋内退避行動の理解及び実施 		
実施の概要	時間	主要行事	訓練内容
	11月上旬	屋内退避の指示	緊急速報(エリア)メールによる住民への屋内退避指示
		屋内退避中の情報提供	ホームページ等による情報提供

⑨【住民避難訓練】 訓練実施計画

目的	バス及び多様な避難手段による住民避難を一連の訓練状況下で実施し、広域住民避難計画及び各細部計画の実効性を向上を行う。		
時期	11月上旬	場所	一時集結所(米子・境港市内)、避難退域時検査会場(名和農業者トレーニングセンター、中山農業者トレーニングセンター)、陸上自衛隊米子駐屯地、陸上自衛隊美保分屯地 他
主要訓練項目	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成30年度に修正した広域住民避難計画及び避難実施計画の検証 2 多様な避難手段による住民避難の実施 3 自衛隊、海保と連携した緊急避難の実施 	編成	鳥取県、鳥取県警察本部、米子市、境港市 陸上自衛隊第8普通科連隊、陸上自衛隊第3飛行隊、 第八管区海上保安本部美保航空基地 等
目標	多様な避難手段での住民避難実施による計画の実効性向上及び要支援者等の避難手順の確認		
実施の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 多様な避難手段による住民避難、緊急避難 <ol style="list-style-type: none"> ア 住民避難 屋内退避に続いて一時集結所から避難退域時検査までの避難に関する一連の手順を確認(県営広域避難所開設訓練と連動した広域避難も一部実施) イ 自衛隊、海保と連携した緊急避難 住民等を捜索、救助し、航空拠点へ輸送のうえ実動機関のヘリを活用した緊急避難を行う。捜索、救出においては、ドローンによる状況確認後、高機動車の先導により行う。 ウ 要支援者等の避難 地域支援者(家族、地域住民等)の介助を伴った聴覚障がい者の避難、外国人のための通訳派遣、在宅要支援者の福祉車両による避難等 2 住民への広報、情報伝達(広報・情報伝達訓練と連携) 3 避難車両内におけるDVD等を活用した住民研修 		

⑩【避難行動要支援者避難訓練】訓練実施計画

目 的	1 原子力災害等緊急時の避難対象施設(入所施設)における避難計画の確認及び実効性の検証 2 原子力災害等緊急時における関係機関(避難元施設、県等行政機関)の連携確認 3 原子力災害緊急時における放射線防護施設の動作確認
-----	---

時 期	11月上旬	場 所	介護老人保健施設ゆうとぴあ
-----	-------	-----	---------------

主要 訓練項目	1 退避エリアの整備、利用者の誘導 2 陽圧機の起動手順の確認	編 成	医療法人真誠会、県
------------	------------------------------------	-----	-----------

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報提供及び伝達・収集について、本訓練を通じて習熟を図る。 ・ 7月に整備した放射線防護施設を訓練に合わせて稼働させ動作、手順等を確認する。
-----	---

	日時	主要行事	訓練内容
実 施 の概要	11月上旬	注意喚起情報の伝達	施設内の情報共有、職員体制の確認
		屋内退避指示の伝達	利用者への状況説明、退避エリアへの誘導 放射線防護装置の作動 給油業者による給油の実施 救援物資の搬入
		屋内退避完了等	屋内退避完了の情報伝達、訓練振り返り

⑪【避難行動要支援者（聴覚障がい者、外国人等）避難訓練】 訓練実施計画

目的	避難指示発令による段階的避難を想定し、バス、JR、航空機等による住民避難を一連の状況下を実施することにより、引き続き鳥取県広域住民避難計画及び各細部計画の実効性を向上させるとともに、避難行動要支援者（聴覚に障がいがある方等）や外国人等の避難訓練を実施し、避難の手順等の検証を行う。								
時期	11月上旬	場所	名和農業者トレーニングセンター						
主要訓練項目	1 住民避難訓練（聴覚に障がいがある方、外国人、在宅の避難行動要避難者等） 2 外国人への広報	編成	鳥取県、米子市						
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすく、多くの住民に伝達可能な広報の実施 ・スムーズな避難を可能にする、的確な避難誘導の実施及び避難手順の検証 								
実施の概要	<table border="1" data-bbox="227 863 1879 1308"> <thead> <tr> <th data-bbox="227 863 519 935">時間</th> <th data-bbox="519 863 1004 935">主要行事</th> <th data-bbox="1004 863 1879 935">訓練内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="227 935 519 1308">11月上旬</td> <td data-bbox="519 935 1004 1308"> <ul style="list-style-type: none"> ・住民避難訓練 ・原子力災害医療活動訓練（避難退域時検査・住民） </td> <td data-bbox="1004 935 1879 1308"> <ul style="list-style-type: none"> ・手話通訳者等による一時集結所から避難退域時検査までの避難誘導を伴った聴覚に障がいがある方等の避難の手順等の検証。 ・外国人への分かりやすい広報（広報・伝達訓練と連携）と避難退域時検査会場内での通訳者等による避難誘導を伴った避難の手順等の検証。 </td> </tr> </tbody> </table>			時間	主要行事	訓練内容	11月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・住民避難訓練 ・原子力災害医療活動訓練（避難退域時検査・住民） 	<ul style="list-style-type: none"> ・手話通訳者等による一時集結所から避難退域時検査までの避難誘導を伴った聴覚に障がいがある方等の避難の手順等の検証。 ・外国人への分かりやすい広報（広報・伝達訓練と連携）と避難退域時検査会場内での通訳者等による避難誘導を伴った避難の手順等の検証。
時間	主要行事	訓練内容							
11月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・住民避難訓練 ・原子力災害医療活動訓練（避難退域時検査・住民） 	<ul style="list-style-type: none"> ・手話通訳者等による一時集結所から避難退域時検査までの避難誘導を伴った聴覚に障がいがある方等の避難の手順等の検証。 ・外国人への分かりやすい広報（広報・伝達訓練と連携）と避難退域時検査会場内での通訳者等による避難誘導を伴った避難の手順等の検証。 							

⑫【学校等の避難訓練】 訓練実施計画

目的	学校、保育所、幼稚園での緊急時の通信連絡手順、屋内退避及び避難手順を確認し、原子力災害発生時における児童生徒等の安全確保対策の円滑な実施を図る。		
時期	令和元年6月～11月	場所	UPZ圏内の学校等
主要訓練項目	<ol style="list-style-type: none"> 1 通信連絡訓練 2 屋内退避訓練 3 保護者への引き渡し訓練 	編成	総合教育推進課、各学校、米子市、境港市
目標	・訓練を通して、通信連絡手順、屋内退避及び避難手順を確認、検証するとともに、各施設の状況に応じた避難計画等を検討する。		
実施の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 通信連絡訓練 緊急時における学校等と関係機関との通信連絡訓練を行う。 2 屋内退避訓練 原子力災害発生を想定し、屋内への退避行動の実施、安否確認の実施等について訓練を行い、手順等の確認を行う。 3 児童・生徒等の保護者への引き渡し訓練 児童・生徒等を保護者に引き渡す訓練を行い、保護者への連絡・引き渡し手順等について確認を行う。 		

⑬【避難退域時検査会場設置訓練】 訓練実施計画

目 的	県地域防災計画及び広域住民避難計画では、原子力災害時において、県内で最大8箇所の避難退域時検査会場を開設することになっており、複数箇所の避難退域時検査会場を開設する場合の手順や運用方法等について検証を行う。										
時 期	11月上旬	場 所	(1)大山町名和総合運動公園[名和農業者トレーニングセンター(メイン会場)] (2)中山農業者トレーニングセンター(サブ会場)								
主 要 訓練項目	1 補給管理システムの輸送手順の確認 2 複数の避難退域時検査会場の開設手順の確認	編 成	鳥取県、民間事業者(輸送・会場設営)								
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・補給管理システム(10及び20ftコンテナ、ロールボックス、避難退域時検査資機材等)の輸送及び避難退域時検査会場での展開 ・二次汚染を防止するための避難退域時検査会場のレイアウトの検証 										
実 施 の 概 要	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">日時</th> <th style="width: 45%;">主要行事</th> <th style="width: 40%;">訓練内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">11月上旬</td> <td>名和農業者トレーニングセンター(メイン会場)における避難退域時検査会場の開設</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・避難退域時検査会場の開設 ・補給管理システムの輸送 ・補給管理システムの全部展開 </td> </tr> <tr> <td>中山農業者トレーニングセンター(サブ会場)における避難退域時検査会場の開設</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・避難退域時検査会場の開設 ・補給管理システムの輸送 ・補給管理システムの部分展開 </td> </tr> </tbody> </table>			日時	主要行事	訓練内容	11月上旬	名和農業者トレーニングセンター(メイン会場)における避難退域時検査会場の開設	<ul style="list-style-type: none"> ・避難退域時検査会場の開設 ・補給管理システムの輸送 ・補給管理システムの全部展開 	中山農業者トレーニングセンター(サブ会場)における避難退域時検査会場の開設	<ul style="list-style-type: none"> ・避難退域時検査会場の開設 ・補給管理システムの輸送 ・補給管理システムの部分展開
日時	主要行事	訓練内容									
11月上旬	名和農業者トレーニングセンター(メイン会場)における避難退域時検査会場の開設	<ul style="list-style-type: none"> ・避難退域時検査会場の開設 ・補給管理システムの輸送 ・補給管理システムの全部展開 									
	中山農業者トレーニングセンター(サブ会場)における避難退域時検査会場の開設	<ul style="list-style-type: none"> ・避難退域時検査会場の開設 ・補給管理システムの輸送 ・補給管理システムの部分展開 									

⑭【車両確認検査等訓練】 訓練実施計画

目的	原子力災害時に避難退域時検査にあたる可能性がある関係機関の要員を対象に、車両汚染検査を実施する際の手順確認、各種資機材の操作方法習熟を図る。		
時期	11月上旬	場所	大山町名和総合運動公園
主要訓練項目	<ol style="list-style-type: none"> 1 車両への汚染検査及び簡易除染 2 避難退域時検査用資機材(車両用ゲートモニタ、大型車両除染テント)輸送・展開、使用手順の確認 3 検査会場体制・各種資機材の円滑かつ効率的な運用を行うための検査会場レイアウトの検証 	編成	鳥取県、中国電力(株)、陸上自衛隊

目標 避難退域時検査用資機材(車両用ゲートモニタ、大型車両除染テント)輸送・展開、使用手順の確認と検査会場体制・各種資機材の円滑かつ効率的な運用を行うための検査会場レイアウトの検証を行う

実施の概要	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">日時</th> <th style="width: 30%;">主要行事</th> <th style="width: 50%;">訓練内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">11月上旬</td> <td style="text-align: center;">車両の汚染検査</td> <td>到着した避難車両に対し、順次ゲートモニタ等による汚染検査を実施する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">車両の簡易除染</td> <td>汚染が確認された車両(想定)に対し、流水または拭取による除染を実施する。</td> </tr> </tbody> </table>			日時	主要行事	訓練内容	11月上旬	車両の汚染検査	到着した避難車両に対し、順次ゲートモニタ等による汚染検査を実施する。	車両の簡易除染	汚染が確認された車両(想定)に対し、流水または拭取による除染を実施する。
	日時	主要行事	訓練内容								
	11月上旬	車両の汚染検査	到着した避難車両に対し、順次ゲートモニタ等による汚染検査を実施する。								
車両の簡易除染		汚染が確認された車両(想定)に対し、流水または拭取による除染を実施する。									

⑮ 【避難支援ポイント設置・運営訓練】訓練実施計画

目的	自然災害(地震)に伴う原子力災害時において、避難住民に対する総合的な支援を行うための場(避難支援ポイント)を避難経路上の避難退域時検査会場に併設することから、その支援内容の検証と、ポイントの設置、運営の手順等を確認する。										
時期	11月上旬	場所	名和農業者トレーニングセンター								
主要訓練項目	1 避難支援ポイントの設置及び運営の手順の確認 2 避難退域時検査会場内の各部門や現地本部との連携及び情報収集・伝達・提供手順の確認 3 避難住民への必要情報の提供	編成	鳥取県								
目標	避難退域時検査会場内の各部門(住民検査担当、車両検査担当)の検査進行状況を把握し、現地災害対策本部等に報告等リアルタイムでの情報提供体制を検証。避難支援ポイントの役割や運営手順の確認を行う。										
実施の概要	<table border="1" data-bbox="202 928 1893 1313"> <thead> <tr> <th data-bbox="202 928 531 1035">時間</th> <th data-bbox="531 928 927 1035">主要行事</th> <th data-bbox="927 928 1893 1035">訓練内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="202 1035 531 1313" rowspan="2">11月上旬</td> <td data-bbox="531 1035 927 1156">情報収集・伝達</td> <td data-bbox="927 1035 1893 1156"> ・情報収集(車両検査、住民検査の進行状況把握) ・状況報告(災害対策本部へメール又は電話で報告) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="531 1156 927 1313">情報提供</td> <td data-bbox="927 1156 1893 1313"> ・訓練参加住民の方への情報提供(避難所一覧、ガソリンスタンド情報等) ・Wifiと防災アプリを使用した情報提供 </td> </tr> </tbody> </table>			時間	主要行事	訓練内容	11月上旬	情報収集・伝達	・情報収集(車両検査、住民検査の進行状況把握) ・状況報告(災害対策本部へメール又は電話で報告)	情報提供	・訓練参加住民の方への情報提供(避難所一覧、ガソリンスタンド情報等) ・Wifiと防災アプリを使用した情報提供
時間	主要行事	訓練内容									
11月上旬	情報収集・伝達	・情報収集(車両検査、住民検査の進行状況把握) ・状況報告(災害対策本部へメール又は電話で報告)									
	情報提供	・訓練参加住民の方への情報提供(避難所一覧、ガソリンスタンド情報等) ・Wifiと防災アプリを使用した情報提供									

⑬【原子力災害医療活動訓練（避難退域時検査）訓練実施計画】

目的	住民避難の際に避難退域時検査会場で実施する避難退域時検査及び簡易除染等の技術の習熟、会場運用方法の検証を行い、対応能力と実行性の向上を図る。		
時期	11月上旬	場所	名和農業者トレーニングセンター
主要 訓練項目	<ol style="list-style-type: none"> 1 国のマニュアルに準拠した「鳥取県原子力災害医療計画避難退域時検査マニュアル」の検査、簡易除染等手順の検証 2 避難行動要支援者(聴覚に障がいがある方等)の対応の検証 3 住民や外国人等に分かりやすい情報提供 4 検査等の業務での放射線拡散防止措置の確認 5 安定ヨウ素剤、車両検査との連携の確認 	編成	鳥取県、米子市、境港市、西部各町村、中国電力株式会社、鳥取県西部圏域聴覚障害者災害対策連絡会、一般社団法人鳥取県診療放射線技師会等
目標	避難退域時検査及び簡易除染等の技術の習熟、会場運用方法の検証、避難行動要支援者・外国人等に対する対応能力向上		

実施 の概要	時間	主要行事	訓練内容
	11月上旬	訓練業務説明 器機操作説明	
		訓練	避難退域時検査、簡易除染、健康相談 避難行動要支援者、外国人対応 安定ヨウ素剤、車両検査部門との連携
		講評	保健所長 一般社団法人鳥取県診療放射線技師会

⑰ 【原子力災害医療活動訓練（安定ヨウ素剤）】 訓練実施計画

目的	安定ヨウ素剤の緊急配布に必要な手順等の確認・検証を行う。(OIL2の判断に基づき一時移転するUPZ住民に対する緊急配布等の訓練)		
時期	11月上旬	場所	一時集結所、避難退域時検査会場(名和農業者トレーニングセンター)、調剤拠点薬局、県立中央病院
主要訓練項目	1 緊急配布等指示の伝達訓練 2 配布時の住民説明・緊急配布訓練 3 乳幼児用液剤の調剤・配送訓練	編成	鳥取県、米子市、境港市、一般社団法人鳥取県薬剤師会
目標	安定ヨウ素剤の配布等の指示の伝達、一時集結所、避難退域時検査会場での説明・配布、乳幼児用液剤の調剤指示の伝達、調剤・配送など、緊急配布に係る一連の手順、薬剤師会との連携を確認するとともに、その習熟を図る。また、事前配布を受けている住民への対応手順について検証する。		
実施の概要	日時	主要行事	訓練内容
	11月上旬	伝達訓練	一時移転に伴う安定ヨウ素剤の配布指示を受け、米子市及び境港市に配布指示を伝達。
		一時集結所での説明・配布訓練	安定ヨウ素剤の服用に関する説明を行い、配布する。(事前配布を受け、既に携帯している者以外)
		調剤訓練	乳幼児用液剤の調剤について、調剤拠点薬局及び県立病院に指示。当該薬局等での調剤手順を検証。
		配送訓練	調剤拠点薬局で調剤した薬剤を一時集結所へ、中央病院で調剤した薬剤、備蓄している丸剤、ゼリー剤を避難退域時検査会場へ配送。
避難退域時検査会場での配布訓練	安定ヨウ素剤未配布(未携帯)の者に、服用に関する説明を行い、配布する。		

⑱－１【原子力災害医療訓練（広域医療搬送（鳥取県消防学校））】訓練実施計画

目 的	医療モジュールを活用しSCUを運営するとともに、傷病者の航空機搬送について、実機を活用した関係機関との連携訓練を行う。		
時 期	11月上旬	場 所	鳥取県消防学校、鳥取空港
主要訓練項目	1 医療モジュール活用したSCUの運営 2 災害派遣医療チーム(DMAT)と陸上自衛隊が連携した傷病者の航空機搬送	編 成	災害派遣医療チーム(DMAT)、陸上自衛隊
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・自衛隊と連携し医療モジュールを活用したSCUの効率的な運営を行う(SCU内指揮系統、DMAT内指揮系統の確認等) ・傷病者の安定化と航空機による傷病者搬送を迅速的確に実施する。 		
実施の概要	<p>○地震発生に伴い県外DMATが仮想県外搬送拠点(鳥取空港)及び鳥取県消防学校に参集。当該空港に参集したDMATは、陸上自衛隊輸送機(CH-47)で鳥取県消防学校へ移動。計10チームが合流。</p> <p>○DMATと陸上自衛隊が医療モジュール(野外手術システム)を含むSCU(航空搬送拠点臨時医療施設)を鳥取県消防学校に設置。</p> <p>○SCUに搬送されてきた傷病者を医療モジュールで安定化させ、CH-47に搭載し仮想県外搬送拠点(鳥取空港)へ広域医療搬送を実施。飛行中は、DMATと陸上自衛隊が連携し、必要な機内活動を行う。</p>		

⑱－２【原子力災害医療訓練（広域医療搬送（美保基地））】訓練実施計画

目 的	傷病者の航空機搬送について、実機を活用した関係機関との連携訓練を行う。		
時 期	11月上旬	場 所	航空自衛隊美保基地、鳥取空港
主要 訓練項目	1 災害派遣医療チーム(DMAT)と航空自衛隊が連携した傷病者の航空機搬送 2 搬送先での傷病者の引き渡し	編 成	災害派遣医療チーム(DMAT)、航空自衛隊、鳥取県東部広域行政管理組合消防局
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・機内における医療資機材・患者固定位置・飛行中の機内活動など、航空機搬送に必要な基礎的な理解及び自衛隊と連携し、迅速的確に傷病者を搬送する。 ・搬送先における傷病者の確実に引き渡す。 		
実 施 の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○地震発生に伴い県内外DMATが県内搬送拠点(航空自衛隊美保基地)に参集。 ○被災地から美保基地へ搬送されてきた傷病者を航空自衛隊輸送機(C-2)に搭載。 ○飛行中は、DMATと航空自衛隊が連携し、必要な機内活動を行いながら仮想県外搬送拠点(鳥取空港)へ広域医療搬送を実施。 ○鳥取空港着陸後、空港に待機していた搬送機関に傷病者の引き渡しを行う。 		

⑱-3 【原子力災害医療訓練（鳥取県済生会境港総合病院）】 訓練実施計画

目的	屋内退避を指示された際の病院の初動体制を確認する。		
時期	11月上旬	場所	鳥取県済生会境港総合病院
主要 訓練項目	1 防護設備の稼働 2 院内退避、転院、一時退院患者 の選定 3 病院出入口の防護措置	編成	鳥取県済生会境港総合病院、陸上自衛隊
目標	屋内退避の実行に際し必要な手順を確認し、迅速的確に入院患者の安全を確保する。		
実施 の概要	<p>【屋内退避】 ○境港市からの屋内退避、一時移転準備の指示を受け、院内放射線防護対策設備を稼働。 ○入院患者のうち、院内退避・UPZ圏外への転院・一時退院させる者に振り分け。 ○病院出入口の防護措置(養生)の実施。</p> <p>【入院患者の転院】 ○県医療救護対策支部へ患者の転院搬送と受入れ医療機関の調整依頼(同支部から同本部へ調整依頼)。 ○転院患者の転院準備(防護措置、受入れ先医療機関への患者情報伝達) ○該当患者を迎えに来た陸上自衛隊救急車に患者を移動。</p>		

⑱－４ 【原子力災害医療訓練（鳥取県立中央病院） 訓練実施計画

目 的	搬送されてきた患者を受入れ、線量確認や除染、その後の治療に至る一連の対応手順を確認する。		
時 期	11月上旬	場 所	鳥取県立中央病院
主要 訓練項目	1 院内防護区画の設定 2 線量確認と除染、負傷箇所治療	編 成	鳥取県立中央病院、鳥取県東部広域行政管理組合消防局
目 標	汚染・被ばくのおそれのある傷病者に対する迅速的確な治療の実施。		
実 施 の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○汚染・被ばくのおそれのある傷病者が東部消防局救急車で県立中央病院に搬送。 ○病院は、傷病者を受入れ線量確認と除染、負傷箇所の治療を実施。 		

⑱－5 【原子力災害医療訓練（鳥取大学医学部附属病院） 訓練実施計画

目 的	搬送されてきた患者を受入れ、線量確認や除染、その後の治療に至る一連の対応手順を確認する。		
時 期	11月上旬	場 所	鳥取大学医学部附属病院、鳥取県西部広域行政管理組合消防局
主要 訓練項目	1 院内防護区画の設定 2 線量確認と除染、負傷箇所治療	編 成	鳥取大学医学部附属病院、鳥取県西部広域行政管理組合消防局
目 標	汚染・被ばくのおそれのある傷病者に対する迅速的確な治療の実施。		
実 施 の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○汚染・被ばくのおそれのある傷病者が西部消防局救急車で鳥取大学病院に搬送。 ○病院は、傷病者を受入れ線量確認と除染、負傷箇所の治療を実施。 		

①9 【避難経路確保訓練】 実施計画

目的	原子力災害時における避難経路が被災した場合を想定し、車両移動や架橋等の対応による通行機能の確保を目的とした訓練を実施する。												
時期	11月上旬	場所	米子港										
主要訓練項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報収集訓練 ・ 道路啓開訓練（放置車両移動） ・ 応急架設訓練 	編成	鳥取県、（一社）鳥取県西部建設業協会、陸上自衛隊										
目標	避難経路における放置車両や橋梁の被災などによる通行障害を迅速に解消し、通行機能を確保する。												
実施の概要	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">時間</th> <th style="width: 35%;">主要行事</th> <th style="width: 50%;">訓練内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">11月上旬</td> <td style="text-align: center;">情報収集訓練</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● ドローンにより上空から避難経路の被災状況に関する情報を収集する訓練 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">放置車両移動訓練</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 災害対策基本法に基づき放置車両を移動する訓練 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">応急架設訓練</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 陸上自衛隊資機材の07式機動支援橋を用いた応急架設訓練（陸上展示） </td> </tr> </tbody> </table>			時間	主要行事	訓練内容	11月上旬	情報収集訓練	<ul style="list-style-type: none"> ● ドローンにより上空から避難経路の被災状況に関する情報を収集する訓練 	放置車両移動訓練	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害対策基本法に基づき放置車両を移動する訓練 	応急架設訓練	<ul style="list-style-type: none"> ● 陸上自衛隊資機材の07式機動支援橋を用いた応急架設訓練（陸上展示）
時間	主要行事	訓練内容											
11月上旬	情報収集訓練	<ul style="list-style-type: none"> ● ドローンにより上空から避難経路の被災状況に関する情報を収集する訓練 											
	放置車両移動訓練	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害対策基本法に基づき放置車両を移動する訓練 											
	応急架設訓練	<ul style="list-style-type: none"> ● 陸上自衛隊資機材の07式機動支援橋を用いた応急架設訓練（陸上展示） 											

⑳ 【県営広域避難所開設訓練】 訓練実施計画

目 的	島根原子力発電所での原子力災害発生に伴う広域住民避難の際に、迅速かつ円滑に県営広域避難所を設置するため、開設手順等の検証を行う。												
時 期	11月上旬	場 所	県営広域避難所(県立鳥取東高等学校)										
主要 訓練項目	1 職員の動員手順の確認 2 県営広域避難所(居住スペース)の設営	編 成	鳥取県										
目 標	迅速かつ円滑な県営広域避難所の設置												
実 施 の概要	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">日時</th> <th style="width: 35%;">主要行事</th> <th style="width: 50%;">訓練内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">11月上旬</td> <td style="text-align: center;">職員の動員</td> <td>・職員の動員手順に従って動員者を招集</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">県営広域避難所(居住スペース)の設営</td> <td>・動員者による居住スペースの設営 ・段ボールベットの設置</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">避難者の受け入れ</td> <td>・避難所での避難者の受け入れ</td> </tr> </tbody> </table>			日時	主要行事	訓練内容	11月上旬	職員の動員	・職員の動員手順に従って動員者を招集	県営広域避難所(居住スペース)の設営	・動員者による居住スペースの設営 ・段ボールベットの設置	避難者の受け入れ	・避難所での避難者の受け入れ
日時	主要行事	訓練内容											
11月上旬	職員の動員	・職員の動員手順に従って動員者を招集											
	県営広域避難所(居住スペース)の設営	・動員者による居住スペースの設営 ・段ボールベットの設置											
	避難者の受け入れ	・避難所での避難者の受け入れ											

②1 【避難誘導・交通規制等措置訓練】 訓練実施計画

目的	原子力災害発生時における、住民避難等を円滑に実施するため、関係機関が緊密に連携し、交通規制や避難誘導訓練を実施する。		
時期	11月上旬	場所	避難訓練実施区域周辺、避難ルート、避難退域時検査会場等
主要訓練項目	1 災害警備本部等設置運営訓練 2 住民避難誘導等訓練 3 広報・情報伝達訓練 4 交通検問所設置等訓練等	編成	鳥取県警察本部、琴浦大山警察署、米子警察署、境港警察署、中国四国管区警察局鳥取県情報通信部
目標			
実施の概要	時間	主要行事	訓練内容
	訓練開始～訓練終了 適宜	広報・情報伝達	交通管制センターの交通情報板・店舗電光掲示板を利用した 広報・情報伝達訓練
	調整中	災害警備本部 等設置運営	警察本部及び関係警察署に原子力災害警備本部を設置し、 また琴浦大山警察署内に実動機関現地合同調整所設置に向けた 機器立ち上げを行い、県、市町村とのTV会議を通じての 情報共有を図るとともに、避難退域時検査会場に現地指揮所 を設置し、映像伝送、無線通信訓練等を実施
	調整中	住民避難誘導 等訓練	米子・境港警察署員による避難広報及びポイント交差点にお ける交通規制、パトカーによる避難バスの先導、避難所等の 警戒活動を実施
	調整中	交通検問所設 置等訓練	緊急交通路が指定されたとの想定の下、模擬交通検問所を設 置し、車両の選別、誘導及び緊急通行車両の確認手続き訓練 を実施

②【物資補給訓練】 訓練実施計画

目 的	1 原子力災害等緊急時における物資需要の把握及び物資の調達・供給方法の確認及び実効性の検証 2 原子力災害等緊急時における物資集積拠点に集積した物資等を避難所へ供給する際の輸送方法の確認		
時 期	11月上旬	場 所	介護老人保健施設ゆうとぴあ、自衛隊米子駐屯地、県庁
主要 訓練項目	1 物資需要の把握 2 物資の調達・供給 3 物資輸送方法の確認	編 成	鳥取県(くらしの安心推進課、通商物流課、とっとり農業戦略課、生産振興課)、自衛隊
目 標	・物資需要の取りまとめ及び物資供給計画の作成について、本訓練を通じて習熟を図る。 ・物資等の避難所へ輸送方法について、手順等を確認する。		
実 施 の概要	日 時	主要行事	訓練内容
	11月上旬	需要とりまとめ	避難所及び屋内退避を実施する福祉施設等からの物資需要の取りまとめ
		物資調達確認	協定締結業者に対し物資供給の可否を確認
		関係機関との調整	①トラック協会、協定事業者等へ情報伝達 輸送対応可能なトラック数及び供給可能数について確認 ②JAへの物資集積所の確認 ③物流専門家の派遣要請
		物資供給計画	物資供給計画の作成、計画を基にした輸送指示
		物資輸送	輸送 ①民間トラックで米子駐屯地へ輸送 ②自衛隊トラックで米子駐屯地からゆうとぴあに輸送

②③【原子力防災講座】実施計画

目 的	<p>原子力防災訓練(住民避難・避難退域時検査)に先立ち、参加住民に対して原子力防災や放射線等についての知識・理解をより一層深めていただくとともに、講座を通じて、原子力災害時における適切な対応を住民自らが考えていただく機会を提供し、原子力防災に対する意識と理解度の向上を図り、効果的な原子力防災訓練にする。</p> <p>なお、訓練当日も原子力防災資機材等を展示し、原子力全般への知識と理解も深めていただく。</p>													
時 期	10月～11月上旬	場 所	米子・境港両市の公民館 4会場											
主 要 訓練項目	原子力防災訓練参加住民への普及啓発	編 成	原子力防災訓練参加住民、県、米子市、境港市											
目 標	原子力防災訓練参加にあたっての知識・理解の深化													
実 施 の 概 要	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">時 間</th> <th style="width: 30%;">主要行事</th> <th style="width: 55%;">訓練内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">10月上中旬</td> <td style="text-align: center;">原子力防災講座</td> <td>・放射線の人体への影響などに関する講演と、屋内退避の有効性と対応、避難を行う際の注意事項などについて作業をしたりディスカッションなどを行うワークショップ等を実施(1回の開催時間は約1時間30分)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">11月上旬</td> <td style="text-align: center;">原子力防災研修</td> <td>・住民避難訓練中のバスの中での研修</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">原子力防災資機材展示</td> <td>・実動訓練の実施日に併せ、防災資機材の展示検討</td> </tr> </tbody> </table>			時 間	主要行事	訓練内容	10月上中旬	原子力防災講座	・放射線の人体への影響などに関する講演と、屋内退避の有効性と対応、避難を行う際の注意事項などについて作業をしたりディスカッションなどを行うワークショップ等を実施(1回の開催時間は約1時間30分)	11月上旬	原子力防災研修	・住民避難訓練中のバスの中での研修	原子力防災資機材展示	・実動訓練の実施日に併せ、防災資機材の展示検討
時 間	主要行事	訓練内容												
10月上中旬	原子力防災講座	・放射線の人体への影響などに関する講演と、屋内退避の有効性と対応、避難を行う際の注意事項などについて作業をしたりディスカッションなどを行うワークショップ等を実施(1回の開催時間は約1時間30分)												
11月上旬	原子力防災研修	・住民避難訓練中のバスの中での研修												
	原子力防災資機材展示	・実動訓練の実施日に併せ、防災資機材の展示検討												